

1 本部例会	
2002年	<p>日本音楽理論研究会 2002.10.26.(土)14:00～ カンマーザールin立川4F 第1回例会</p> <p>統一テーマ:「音楽理論の現状と課題」 基調講演:島岡 譲「音楽理論とは何か?~私の場合」 シンポジウム:「音楽理論の現状と課題」 コーディネーター:島岡譲 パネラー:小河原美子 小川伊作 柳田憲一</p>
2003年	<p>日本音楽理論研究会 2003.5.24.(土)13:50～17:30 カンマーザールin立川4F 第2回例会</p> <p>見上 潤:「旋法理論 再構成の試み~教会旋法から近代旋法まで」 小川伊作:「バッハのフーガの旋法的分析の試みと若干の問題提起-平均律第1巻第1番BWV846のフーガ分析」 三上かーりん:「詩から生まれた音楽」SchumannのLiederkreis op.39「トボスとしてのサブドミナント」 遠藤信一:「ラヴェル「水の戯れ」の分析」</p> <p>日本音楽理論研究会 2003.10.4.(土)11:00～ GGサロン 第3回例会</p> <p>統一テーマ「音楽教育の現状と課題」 基調講演:大宅 寛:「創作指導の体系試案としての大宅方式」 シンポジウム:「音楽教育の現状と課題」 コーディネーター:島岡 譲 パネラー:大宅 寛 楠瀬敏則 鈴木一真 遠藤信一</p>
2004年	<p>日本音楽理論研究会通信第1号発行 2004年4月1日</p> <p>日本音楽理論研究会 2004.5.23.(日)13:50～17:30 GGサロン (東京都豊島区千早1-16-14現代ギター社4F) 第4回例会</p> <p>発表1 小河原美子:「楽曲分析 ドビュッシー「前奏曲集第I巻」より「IV 音と香りは夕暮れの大気に漂う」,「VII 亜麻色の髪」」 発表2 見上 潤:「旋法理論 再構成の試み(2)音素材の淘汰・分類の方法論とその階層構造」</p> <p>日本音楽理論研究会 2004.10.3.(日)13:50～17:30 AI(アイ)スタジオ 第5回例会</p> <p>講演1 中村佐和子:「ソナタ形式の授業風景」 講演2 楠瀬 敏則:「音楽の基礎教育の課題」</p>
2005年	<p>日本音楽理論研究会 2005.5.22.(日)13:50～17:30 AI(アイ)スタジオ 第6回例会</p> <p>修士論文1 小林直樹:「ショスタコーヴィッチの音楽語法」 修士論文2 角口琴英:「ペラ・バルトックの弦楽四重奏曲における音楽語法」 講 演 増田宏三:「グレゴリオ聖歌の音組織について」</p> <p>日本音楽理論研究会 2005.10.2.(日)13:50～17:30 AI(アイ)スタジオ 第7回例会</p> <p>内容 基調講演1件 シンポジウム1件 基調講演 永富 正之:「日本におけるソルフェージュ教育の問題点-和声について-」 シンポジウム:「調性感の育成について」 コーディネーター:永富 正之 パネラー:島岡 譲、古曾志洋子</p>
2006年	<p>日本音楽理論研究会 2006.5.21.(日)13:50～5:30 AI(アイ)スタジオ 第8回例会</p> <p>修士論文発表 齊藤慶子:「J.S.バッハ《フーガの技法》BWV1080の未完のフーガにおける全体像」 研究発表 小河原美子:「楽曲に隠された声部様式」 柳田憲一:「終止(D-T)におけるV諸和音の形態変化について~Noël-GALLONの84 solfège des concoursより~」</p> <p>日本音楽理論研究会 2006.10.1.(日)13:50～17:30 AI(アイ)スタジオ 第9回例会</p> <p>内容:フォーレの歌曲~詩と楽曲分析 発表者:島岡 譲 金原礼子</p>
2007年	<p>日本音楽理論研究会 2007.5.20.(日)13:50～17:40 AI(アイ)スタジオ 第10回例会</p> <p>1 修士論文発表 稲崎 舞:「ストラヴィンスキー《ふくろうと小猫ちゃん》分析と解釈」 2 旋法と和声:ガチンコ対決 発表とシンポジウム 見上 潤 「【旋法理論 再構成の試み 3】教会旋法の巻 ~今日からあなたも教会旋法の達人!~」 小川伊作:「実作品にみる旋法的和声」(ルイス・ミランのファンタシアの分析) 教会旋法ガチンコ対決:小川伊作 vs 見上 潤</p> <p>日本音楽理論研究会 2007.10.7.(日)13:50～17:40 AI(アイ)スタジオ 第11回例会</p> <p>注目! 音楽言語学の試み 講師:島岡 譲</p>
2008年	<p>日本音楽理論研究会 2008.5.18.(日)13:50～ AI(アイ)スタジオ 第12回例会</p> <p>1. 古曾志洋子:「和声学をはじめの前に-島岡 譲「和声のしくみ・楽曲のしくみ」(2006.)を心地よく読み、納得できる耳を育てるソルフェージュとは?」 2. ローラン・テシュネ:「明日のためのソルフェージュ教育」 (Laurent Teycheney: "Pour l'enseignement du solfège de demain")</p> <p>日本音楽理論研究会 2008.10.5.(日)13:50～5:40 AI(アイ)スタジオ 第13回例会</p> <p>大注目! 続・音楽言語学の試み 講師:島岡譲</p>
2009年	<p>日本音楽理論研究会 2009.5.17.(日) 13:50-17:40 AI(アイ)スタジオ 第14回例会</p> <p>テーマ:「ドイツ・リート 詩と音楽」 第1部 三上かーりん:「恋の双六」-シューマン《詩人の恋》調性による心理学的場面転換- 第2部 島岡 譲:「ドイツ・ロマン派の音楽語法 -シューマンの"語り"を読み解く-</p> <p>日本音楽理論研究会 2009.10.4.(日) 13:30-17:40 AI(アイ)スタジオ 第15回例会</p> <p>テーマ: 音楽におけるカオスとコスモス 第1部 見上 潤:「ペルク《7つの初期の歌曲》の近代和声語法 -第1曲「夜」における無調性(カオス)と調性(コスモス)の対照原理-」 演奏:ソプラノ独唱 小川えみ ピアノ 見上 潤 第2部 永富正之:「ハイドンのオラトリオ「天地創造」の"混沌"の和声法</p>
2010年	<p>日本音楽理論研究会 2010.5.16.(日) 13:30-17:40 AI(アイ)スタジオ 第16回例会</p>

- 第1部 今野哲也：(13:30-15:25)
 ベルク《アルテンベルク歌曲集》の楽曲分析 —第2～4曲を中心に—
 第2部 小川伊作：(15:45-16:40) ビウエラ歌曲にみる悲劇性の表現
 アロンソ・ムダラAlonso Mudarra《ダヴィデ王は悲しんでいた Triste estava el Rey David》
 ソプラノ独唱：小川えみ ビウエラ：小川伊作

日本音楽理論研究会 会2010.10.3.(日) 13:30-17:40 AI(アイ)スタジオ
 第17回例会

- 内容：シューベルト《美しき水車小屋の娘》詩と音楽の分析
 講師：島岡 譲：第6,7,10,12,16,19,20曲の音楽分析
 ★ 同日ブレ企画：シューベルト《美しき水車小屋の娘》全曲演奏会 10:30-12:00
 ソプラノ独唱：小川えみ(音楽理論研究会専属歌手) ピアノ：見上 潤

2011年 日本音楽理論研究会 2011.5.15.(日)12:30-17:40 AI(アイ)スタジオ
 第18回例会

- 統一テーマ：J.S.バッハの作曲技法とその近代音楽への射程</p>
 1. 小河原美子：「バッハの平均律第2巻23番のフーガにおける対位法技法と和声」
 2. 大野聡：「バッハの作品にみられるソナタ形式の萌芽」 13:40-15:20
 3. 宮川直己：報告「音楽アーカイブ設立のお知らせ」 15:40-15:50
 4. 福田由紀子：「『ゆれの理論』から見たDebussy音楽の分析」 15:50-17:30

日本音楽理論研究会 会2011.10.2.(日)10:30-16:40 AI(アイ)スタジオ
 第19回例会

- 統一テーマ：—詩と音楽から読み解くシューベルト《冬の旅》—
 第1部 三上かーりん・見上 潤：「詩から読み解くユニゾンの音楽的意味 Schubert Winterreise」
 第2部 島岡 譲：レクチャー「音楽の言葉で読み解くシューベルト《冬の旅》」

2012年 日本音楽理論研究会 2012.5.13.(日)10:30-17:40 AI(アイ)スタジオ
 第20回例会

- 統一テーマ：—続・詩と音楽から読み解くシューベルト《冬の旅》—
 1. 特別演奏：Schubert《Winterreise》ソプラノ独唱：小川えみ ピアノ：見上 潤
 2. 浅田秀子「シューベルト『冬の旅』の裏物語—冥界のヘルメス」
 3. 島岡 譲：「続・音楽の言葉で読み解くシューベルト《冬の旅》」(第19回例会の続き)

2 支部例会

1 大分支部例会

- 2002年 第1回大分例会 2002.11.16.(土)10:00～17:00 大分県立芸術文化短期大学音楽棟小ホール
 講師：島岡 譲
 講義内容：午前「和声の文法」～音楽分析の基礎 午後：実作品の分析(ドビュッシー：「アラベスク1番」および前奏曲集第1巻「沈める寺」)
- 2003年 第2回大分例会 2003.11.15.(土)10時～17時 大分県立芸術文化短期大学音楽棟小ホール
 講師：島岡 譲
 テーマ：バッハ平均律クラヴィア曲集の分析
 「楽曲分析の基礎」と「楽曲分析 平均律クラヴィア曲集 I 巻 第1番BWV846・第2番BWV847・第13番BWV858・第16番
- 2004年 第3回大分例会 2004.11.21.(日) 大分県立芸術文化短期大学 芸術棟3F講義室A
 内容 特別講義：シューベルト作曲「冬の旅」
 講義1 三上かーりん：「詩から生まれた音楽(冬の旅)～シューベルトの歌曲集を辿る」
 講義2 島岡 譲：楽曲分析
- 2005年 第4回大分例会 2005.11.20.(日) 大分県立芸術文化短期大学 芸術棟3F講義室A
 1. 小河原美子：楽曲分析：ドビュッシー「前奏曲集」I巻より「デルフィの舞姫」「帆」ほか
 2. 三上かーりん：楽曲分析：シューベルト「魔王」
- 2006年 第5回大分例会 2006.11.12.(日)10:00～17:00 大分県立芸術文化短期大学音楽棟小ホール
 テーマ：フォーレの歌曲～詩と音楽の分析
 講師：島岡譲(国立音楽大学名誉教授)、金原礼子(元筑波大学教授)
 分析対象曲：「リディア」「イスファハンのぼら」「月の光」ほか(すべて原調)

2 東京支部例会

- 2007年 第1回東京例会 2007.7.29.(日) 13:00-17:40 杉並公会堂 Aスタジオ
 1. 今野哲也：「クリスタル和音 理論化への試み ——古典から近代まで——」
 2. 大野聡：「シューベルト ピアノソナタ変ロ長調D. 960第一楽章の分析—ロマン期のソナタ形式の一例として—」
 3. 岡崎登代子：「J.S.バッハ 平均律クラヴィア曲集第2巻第13番 Fis-durフーガをめぐって」
 4. 見上 潤：「【旋法理論 再構成の試み 4】5音階のトリコルド分析とその応用諸形態」
- 2008年 第2回東京例会 2008.3.30.(日) 12:40-17:30AI(アイ)スタジオ
 1. 見上 潤：【旋法理論 再構成の試み5】教会法と調性 ～調のコンステレーションとその意味論～
 2. 生塩曜：ドビュッシー《牧神の午後への前奏曲》に見られる調性拡張の試み
 3. 齊藤 紀子：ショパン《練習曲集》作品10及び作品25の統合性に関する一考察
 4. 今野哲也：ヴァーグナー《トリスタンとイゾルデ》前奏曲の分析—導7の和音の「ひびき」を中心とした——
 5. 大高誠二：音階の構造と機能理論の関係 ～和音を分解的に捉える試み
- 第3回東京例会 2008.8.3.(日) 12:30-17:30 AI(アイ)スタジオ
 1. 福田由紀子：構造分析における調と和声の重要性 (J.S.Bach, Partita Nr.1 B dur)
 2. 岡崎登代子： J.S.Bach, Das wohltemperierte Klavier II Nr.17 As durPraeludium und Fuge
 3. コラム講義 島岡 譲：【解題『総合和声』原理篇】”半ずれ”とは何か？—ドビュッシー《前奏曲集》第2巻《カノーブ》の解釈
 4. ワークショップ 瀧廉太郎《納涼》(1900、明治33.)の分析と演奏法
 A. 小川伊作：瀧廉太郎再発見！ 音楽史とエクリチュールのはざままで —組歌『四季』第2曲「納涼」を巡って—
 B. 見上 潤： 声楽的観点を取り入れた歌唱ソルフェージュの実践的考察 —瀧廉太郎《納涼》を題材にした音高・リズム・母音の立体的構造の分析—
- 2009年 第4回東京例会 2009.3.29.(日) 12:30-17:40 AI(アイ)スタジオ
 統一テーマ：【声楽曲分析の方法と課題】
 1. 大野聡： 超入門ドイツイートの世界—シューベルト有節歌曲の魅力—
 《野ばら》《トゥーレの王》《笑いと涙》《さすらい人の月に寄せる歌》
 2. 今野哲也： いま明かされる「ひびき」の秘密—調性と無調性の狭間で—
 3. 見上 潤：「 “ことば・おとこえ”三位一体理論” 全貌公開
 3.1. “知られざる”ショパン歌曲《僕のいとしい人》の総合分析
 3.2. —ポーランド語歌詩の発音・文法分析+音楽分析+ドルチェカント歌唱法による 参加型演奏研究—
 4. パネル・ディスカッション：【ガチンコ放談】音楽理論、生かすも殺すもあなた次第！！
 コーディネーター：見上 潤 パネリスト：阿久津東真 大野聡 今野哲也 横山聡
- 第5回東京例会 2009.7.26.(日)12:30-17:40 AI(アイ)スタジオ
 第1部 岡崎登代子：J.S.バッハ《平均律クラヴィア曲集》第2巻第23曲口長調 前奏曲とフーガの構造と和声
 第2部 ガチンコ対決：初期ベルクの音楽語法を斬る！—《4つの歌曲》作品2をめぐって—

1. 見上 潤: 初期ベルクにおける移限音素材 (Otogenom理論による) の使用法について -《7つの初期の歌曲》より「夜」の分析を中心にして-
2. 今野哲也: ベルク《4つの歌曲》作品2より第2曲、第3曲の分析
3. ディスカッション
演奏: ソプラノ独唱 小川えみ ピアノ 見上 潤
- 第6回東京例会 2009.12.20.(日) 12:30-17:40 AI(アイ)スタジオ
第1部 岡崎登代子: J.S.バッハ《平均律クラヴィア曲集》第2巻第21曲 B-dur 前奏曲とフーガの構造と和声 (12:30-12:45)
第2部 続・ガチンコ対決: 初期ベルクの音楽語法を斬る! 今野哲也 vs. 見上 潤:
-アルバン・ベルク《4つの歌曲》作品2第4曲と近代和声の分析法をめぐって-
演奏: ソプラノ独唱 小川えみ ピアノ 見上 潤
- 2010年 第7回東京例会 2010.3.28.(日)10:30-16:40 AI(アイ)スタジオ
1. 福田由紀子: Johannes Brahms 作曲「6つのピアノ小品 作品118」の和声技法の解明
2. 小田裕之: ヨゼフ・スク《子守唄》作品33(Josef Suk, Ukolé bavky Op.33)の作品分析と演奏法
第8回東京例会 2010.12.19.(日) 12:30-17:40 AI(アイ)スタジオ
1. 見上 潤: シューベルト《美しき水車小屋の娘》《冬の旅》の調性構造の比較と階名(移動ド)唱法のテクニック—声楽家のための音楽分析入門—
2. 横山聡: ピアノの性能と演奏時の身体性を考慮した音楽分析—ショパン《練習曲集》作品10-1 C-durの理想的な演奏再構築のために—
3. 大高誠二: 標題未定 (拍節の定義やその本質に関するテーマ)
4. 水崎寛明: コンピューター解析による転調理論構築の試み
- 2011年 第9回東京例会 2011.12.18.(日) 12:30-17:40
チーム発表: 「メシアン《ピアノのための前奏曲集》をめぐって」—移調の限られた旋法・島岡ゆれ理論の近代和声への応用・メシアンの色彩構成— 赤坂樹里亜 西山タカスケ 見上 潤
1. 見上 潤: 「今日からあなたも”移調の限られた旋法”の達人! —メシアンM.T.L. 攻略法伝授—」
2. 赤坂樹里亜: 「メシアン《ピアノのための前奏曲集》(1928-29)のアナリゼ」
3. 西山タカスケ: 「メシアン《ピアノのための前奏曲集》(1928-29)の色彩構成 —メシアン・メモのリアリゼーション—」
- 2012年 第10回東京例会 2012.3.25.(日) 12:30-17:40
1. 横山聡: 「続・ピアノの性能と演奏時の身体性を考慮した音楽分析—ショパン《練習曲集》作品10-1 C-dur、及び作品 25-12 c-mollの理想的な演奏再構築のために—」
2. 福田由紀子: 「Debussyの音楽に見るぼかしの技法」(前奏曲集第2巻「火花」の分析)
3. 今野哲也: 「ベルク《叙情組曲》の分析」
- 第11回東京例会 2012.12.16.(日) 12:30-17:40
=ベートーヴェン特集=
1. 大野聡: 「単純な和声に支えられた単純な動機から作りだす壮大な展開(ドラマ)」(12:30-13:00)
(ベートーヴェン《交響曲第3番》《弦楽四重奏曲第7番》の第一楽章)
2. 佐野光司: 「ベートーヴェンの新しい道」(15:00-)
- 2013年 第12回東京例会 2013.3.31.(日) 13:30-17:40
1. 寺内克久: 「スタンダードナンバー“Autmun Leaves”のアレンジ/バリエーションにみるジャズ表現の可能性」(13:30-14:30)
2. 今野哲也: 「タイトル詳細未定 (ベルク《山を越えて》(U`ber den Bergen)の分析)」(14:30-15:30)
ソプラノ独唱: 小川えみ ピアノ: 見上 潤
3. 浅田秀子: 「続・シューベルト『冬の旅』の裏物語—冥界のヘルメス」(15:50-17:30)